

群馬県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

選抜概要

- 群馬県の公立高校入試（全日制）は、本検査1回選抜で行われます。

	出願期間	志願変更期間	入試日	合格発表日
本検査	WEB出願 1/5(月)~1/30(金)	【1回】 2/3(火)・4(水) 【2回】 2/6(金)~10(火)	2/19(木) ・20(金)	3/4(水)

- 出願は、原則1校1学科（コース）に限ります。
ただし、複数の学科等を設置する学校の場合、同一高校の他の学科等を第2志望とすることを認める学校もあります。学校ごとの規定がありますので事前に確認しておきましょう。
- 志願変更は規定された日付にそれぞれ1回、合計2回、変更が可能です。
- その他、連携型選抜、フレックススクール選抜などがあります。

選抜制度

- 1回の検査により「特色型」と「総合型」の段階選抜を実施します。
2つの観点による選抜を行うことにより受検者の優れた点を、より積極的に評価するための検査方法です。
- 本検査では、1日目に学力検査、2日目に面接等を実施します。
- 選抜資料
 - ①学力検査…国語・数学・英語・理科・社会（各100点）
 - ・検査時間は各50分
 - ・学校によって、教科内の配点を変えたり、教科間の傾斜配点を行う場合もある。
 - ②面接等…集団面接、個人面接、英語面接、パーソナル・プレゼンテーションから各学校が定める。
 - ③調査書…評価は、中学1~3年（3年間）の9科（5段階評価）が記載される
※なお、中3の評価は、12月末までの成績
- また、出願時には「インタビューシート」を提出します。
受検する学校や学科等を志望する理由や学校内外の活動歴などについて、3つの質問に答える形で記入する仕様となっており、面接の際に参考とされます。

選抜方法

●調査書，5科の学力検査，インタビューシートを参考とした面接及び各学校が定めた検査の結果等を総合して，高等学校・学科等の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選抜を行う。

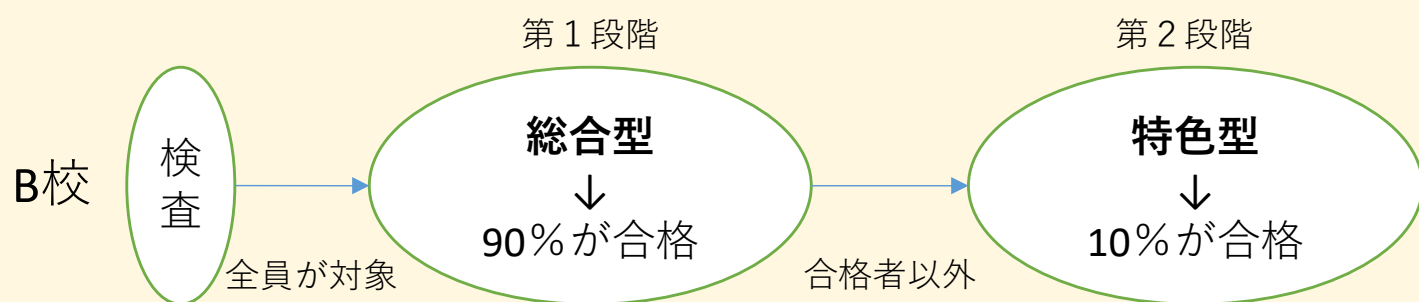
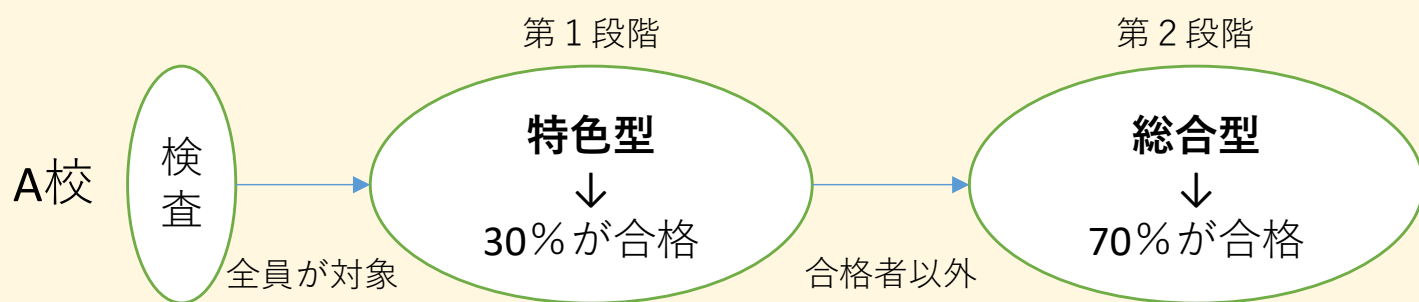
①募集定員の10～50%を「特色型」，50～90%を「総合型」とし，全ての受検者を対象に2つの型による選抜を行う。

まず，受検者全員を対象に「特色型」または「総合型」のいずれか一方の型により判定して合格者を決め，その後，合格者を除いた受検生全員を対象にもう一方の型により判定して合格者を決める。

②各高校のアドミッション・ポリシーに基づき，学力検査，面接等，各学校が定めた検査，調査書の各検査項目について，それぞれの比重を定めて選抜を行う。

※①②の選抜方法について，学校・学科等の特色に応じて学科等ごとに設定する。

【 例 】



・なお，特色型に限り，検査項目の比重の異なる複数の区分を設けて選抜を行うことが可能。

